

民主島根

2018年
8.26
第1318号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

9条改憲すすめる安倍政権の退陣を 「終戦の日」各地で街頭宣伝

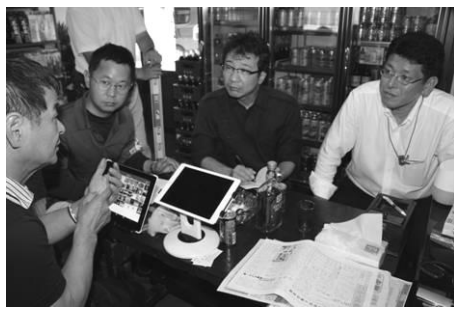
福住ひでゆき 参院島取・島根 選挙区予定候補 ら地方議員先頭に

県内の日本共産党地方議員と福住ひでゆき参院鳥取・島根選挙区予定候補は15日、73回目の終戦記念日にあたり、各地で街頭演説しました。JR松江駅前では、尾村利成県議、橋祥朗、吉儀敬子の両市議、岩田剛・東部地区委員長が訴えました。

尾村県議は、安倍政権による安保法制(戦争法)の強行、憲法9条を変え、無制限の集団的自衛権の行使や海外での武力行使ができる国にしようとしていると批判。「多くの犠牲と悲惨な体験を経て、日本国民が手にした憲法9条を守り、生かす政治をつくるために全力を尽くします」と決意を表明しました。



訴える尾村利成県議(左から2人目)と党松江市議団ら(松江市)



江津市では、多田伸治市議がマイクを握り、「安倍政権が国会で繰り返してきたウソの政治は歴代政府の中でも異常で、ウソの政治を許せば民主主義は崩壊し、戦争につながる」と指摘。「市民と野党の共闘を強く大きくして、ウソと偽りの安倍政権を倒しましょう」と呼びかけました。

西日本豪雨 被災手続き「難しい」 大平氏 江津・被災者から要望聴取

日本共産党の大平喜信前衆院議員は11日、西日本豪雨で被災した江津市、川本町、美郷町の被災者を訪ねました。多田伸治市議、山口節雄・川本町議、中原保彦・美郷町議らが同行し、「ご要望があれば何でも伺います」「暑いのでお体に気をつけてください」と励ましました。

江津市で酒屋を営む原田重信さん(69)は自宅兼店舗の1階が水に浸かりました。住宅として大規模半壊と認定され、国の被災者生活再建支援の対象となっています。

共産党が被災自治体に義援金 江津市・川本町 尾村県議らが手渡す



日本共産党島根県委員会は10日、被災した江津市、川本町に党中央委員会からの義援金を届けました。尾村利成県議・副委員長と森川佳英、多田伸治の両市議、山口節雄町議らが目録を手渡しました。

しかし、商店を続けていくための保障には不安を抱えています。原田さんは、被災関連の書類手続きを行政が行わないことに不満を示し、「手続きを簡素にしてください」と応じました。

大平氏は「罹災証明だけ用意すれば、あとは行政が書類を準備するよう市や県、国に求めていきます」と応じました。

島根3号機 審査申請了解に抗議 知事は県民の声を聞け



原発ゼロをめざす島根の会は7日夕、県庁前で集会を開きました。(写真)

真) 溝口善兵衛知事が同日に中国電力に島根原発3号機の新規稼働に向けた適合性審査申請を了解したことに対し、約70人の参加者が抗議。「県民の声をちゃんと聞け」「原発事故を忘れるな」のコールを響かせました。

中国電力は、島根県から申請について了解する回答を9日に受け、10日、原子力規制委員会へ申請しました。

鼓動

8月17日に告示された香川県議補選に立候補している前民青同盟香川県委員長の秋山時貞さん(32)が猛奮闘している。秋山さんは筆者と同じ年で、ブラック企業に苦しめられて入党を決意したという点でも筆者と同じである▼秋山さんとは1度だけ民青の全国大会でお会いした。報告はすごい内容で、着任してわずか1年で同盟員をグンと増やし、地区委員会も再建させたというものだった。なかでも、「右も左もわからない自分は、大会決議にしがみつき、目標にトントンこたわったら結果が出た」という言葉には感動した▼これに見習って、筆者も綱領のみならず、第27回大会決定には立ち止まったら読み返すようにしている。もちろん、大会決定に基づいて作られる中央委員会決定や「檄」「訴え」などは重く受け止めているが、中心軸は綱領、大会決定だ▼盆はしつかり休んでメリハリある拡大を、と直近の「訴え」にあった。ふだん党勢拡大のことばかり考えているので、盆はきちんと休暇をとった。党文献を読みたくなる衝動を抑えて、ずっと漫画を読んでいた。良い悪いは置くとして、心身ともにリフレッシュできた。去年はできなかった先祖の送り火もすることができた▼そのおかげなのか、ふと夢という目標ができた。愛車にターボを付けるということだ。ささいな夢や目標があるだけでも少し人生が楽しくなった気がする▼冒頭の話に戻るが、秋山さんなら得票目標を必ず突破して圧倒的勝利をもって、香川の地から安倍政権ノリの審判を下してくれろと信じている (純)